

第1回数理の翼冬季セミナー 実施報告書（速報版）

1. 概要

第1回数理の翼冬季セミナー（主催：特定非営利活動法人数理の翼，後援：文部科学省，協力：東京大学，湧源クラブ）は、2007年1月4日13時に始まり、計画通りの進行で、6日15時に終了した。会場は、東京大学（工学部2号館）、ふたき旅館の2箇所を使用した。本セミナーには、高校生・高専生51名、招待講師3名、TA（大学生・院生・若手研究者）7名、来賓若干名、スタッフ13名が参加した。

2. 準備の状況

本セミナーの準備は、2006年9月からの約4ヶ月にわたり、20名を超えるボランティアスタッフが担当した。週に1度の割合で合計13回の会合を開き、講師選考・依頼、会場確保、TA依頼、進行計画作成、参加者募集要項・招待書類・パンフレットの編集・印刷・発送、物品調達、食事手配、寄付依頼等について検討し、作業を行った。スタッフ間での連絡にはメーリングリストを使用し、1000通を超える投稿があった。情報共有にはWikiを使用し、100程度のトピックが作成され、2000回程度の更新が行われた。

3. 応募・参加の状況

全国各地の高校・高専465校の数学担当教諭宛に、募集要項とポスターを郵送し、掲示・告知の依頼を行った。応募は、11月6日から25日まで、郵送とインターネットにて受け付けた。応募者の総数は122名であった。選考委員による選考の結果、合計で52名を招待したが、キャンセルがあったため、最終的な参加者は51名となった。応募者の学年は、1年生60名、2年生60名、3年生2名、参加者の学年は、1年生22名、2年生27名、3年生2名であった。参加者の居住地・性別は下表の通りであった。

	北海道		東北		関東		信越		北陸		東海		近畿		中国		四国		九州		沖縄		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
応募	3	2	4	2	33	23	2	2	6	0	6	4	7	5	4	0	1	0	8	8	1	1	75	47
参加	3	1	2	2	12	6	0	2	3	0	1	1	5	3	1	0	1	0	3	3	0	1	31	20

4. 当日の状況

1日目は、晴天に恵まれ、交通機関の乱れも無く、全ての高校生が時間通り13時に会場に到着した。注意事項の連絡後、萩田 真理子 先生（お茶の水女子大学 理学部情報科学科・助教授）の講義「並列計算機によるシミュレーションと、地図の塗り分け問題」、7つのグループに分かれての少人数セミナーが行われた。夕食の後は、旅館の大広間でレクリエーション（人間知恵の輪、素数ゲーム）や夜ゼミ等が行われた。

2日目は、午前中、柴田 直（ただし）先生（東京大学 新領域創成科学研究科・教授）の講義「心の情報処理に学ぶブレイン・プロセッサ～最先端半導体技術で創る右脳コンピュータ～」、午後は甘利 俊一 先生（理化学研究所 脳科学総合研究センター・センター長）の講義「私の数理科学—脳と情報を中心に」、そして、参加者の高校生による数学、化学、情報工学等に関する発表4件が行われた。夜は、立食パーティーが行われた。この日の夜ゼミには柴田先生も参加され、大いに盛り上がった。

3日目は朝から雨であったが、予定通り10時には、ミニシンポジウム企画「ザ・高校生の質問」が行われた。前日に参加者から寄せられた質問に対し、講師3名の他、社会人、大学生・院生のTAやスタッフより、それぞれの体験・知見に基づいた意見が出され、セミナーの最後にふさわしい企画であった。最後に、集合写真の撮影や閉会式が行われ、15時に解散した。

5. その他

現在、講義録を含む事業報告書を作成中であり、3月頃の発行を予定している。